水道かわら版

第3回 世界水フォーラム

World Water Council
3rd World Water Forum

日本から世界へ、「水の世紀」のメッセージを。

災害や汚染、紛争などで危機に直面している世界の水問題の解決に向け、相互理解と方策を探る国際会議を、大阪、京都、滋賀を結んで開催。

大阪府営水道もインテックス大阪会場で「水と都市と産業、そして未来」をテーマにした展示会"水のEXPO"に参加しています。

2003年 3月16日〜3月23日

題です。

大阪の真夏日が増加傾向にあるように、地球温暖化も世界規模で拡大しています。海面の上昇、洪水、水没だけでなく、地球全体の水資源に計り知れない変動をもたらす恐れがあります。

地球はひとつ。世界の水問題は、私たちの問題です。

インターネットで浄水場見学ができます!

3/18 OPEN!

http://www.pref.osaka.jp/suido/

「浄水場見学」ができる新しいホームページ〜バーチャル浄水場〜が完成。淀川の水から、高度浄水処理水ができるまでを、わかりやすく紹介しています。

実写映像だけでなく、コンピュータグラフィックスにより通常見ることのできない浄水過程も紹介しているので、水づくりについて、よりくわしく理解していただけます。

また、アニメーションキャラクターが案内する物語風の動画やクイズもあるので、小学生の方でも、楽しみながら浄水場の仕組みや水の大切さについて学んでいただけます。

◎発行
大阪府　水道部
〒540-0012
大阪市中央区
谷町2丁目3番4号
◎電話(代表)
06-6941-0351
(内線3244)
◎ファックス
06-6944-6868

三島浄水場も太陽光発電システム

——平成15年1月から稼動

村野浄水場に引き続き、三島浄水場においても、太陽光発電システムが完成しました。規模は、村野浄水場と同じ年間発電電力量約36万kwh。水道事業体としては最大級のものです。これは、一般家庭の年間使用電力量の約100軒分に相当します。

これからも、府営水道は環境にやさしい水づくりを行ってまいります。

大阪府 水道部
この小冊子は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。
この小冊子は企画から印刷まで全てを外注して、作成しております。(5万部作成、作成費用920,535円)

知ってて得する水の知恵 Part5

高度浄水処理水

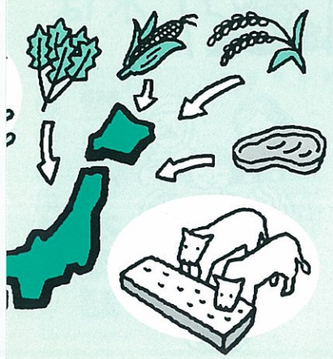
●大阪府営水道
大阪の水・世界の水

世界の水とつながる暮らしの水

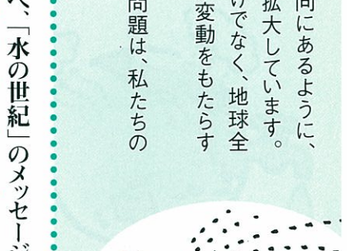
日本の食料の60%は世界の水に頼っています。

日本の水道水の自給率は100%。しかし、食料の自給率は40%しかなく、60%は世界各国で生産された食料で支えられています。

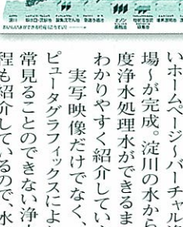
輸入食料は、穀類でも肉類でも、それぞれの国の水を使ってつくられたもの。干ばつや洪水、水汚染といった問題は、世界の人々の暮らしを直撃するだけでなく、農産物にも大きな影響を与えます。それは、私たちの暮らしにも、そのままつながる重要な課題です。



水道の水が地球を循環



市町村水道を経由して家庭に届けられた水道水は、生活排水として下水処理場へ、海水は海へ。そして河川を経て、大阪湾へと注ぎます。海へ運ばれます。そして河川を遡って、上昇気流に乗って雪となって、陸や海に戻ります。世界の海へとつながっています。



世界各国の降水量

国土庁・水資源白書(平成11年)

	降水量
日本	1,714
オーストリア	460
カナダ	522
旧ソ連	502
アメリカ	760
ヨルダン	100
フィリピン	2,360
スコットランド	750
中国	660
イタリア	1,000
インド	1,170
イギリス	1,064

	一人当り年間降水量(m3/人/年)
オーストリア	5,160
カナダ	221,416
旧ソ連	203,337
アメリカ	40,144
フィリピン	29,485
インド	17,769
イギリス	12,738
スコットランド	7,478
中国	5,907
イタリア	5,260
インド	5,021
イギリス	4,624

日本の年間降水量は1,714mmで、ヨーロッパの2倍もあります。しかし、国の面積あたりでは比べられないほど少ないのです。毎日、入れ替わりながら海へ流れ出ています。

ロシアは日本の約30倍もの国土ですが、降水量は日本の半分。ヨーロッパ諸国の中でも、イタリアは日本の3分の1程度しかありません。

琵琶湖の水源である琵琶湖水系は、年間降水量が1,600mmもあるのに、人口は約1,300万人。一人当り年間降水量は約5,000トンです。

ヨルダンは、日本の約100分の1。砂漠の国です。

私たちの生活を支える水資源は、琵琶湖開発事業などによって、琵琶湖水系の水源である琵琶湖が、平成3年度に観測史上最低の水位を記録しました。

水を大切にしようという人びとの心がなければ、水は枯れてしまいます。

日本は雨に恵まれているが、水に恵まれているか。

日本の年間降水量は1,714mmで、ヨーロッパの2倍もあります。しかし、国の面積あたりでは比べられないほど少ないのです。毎日、入れ替わりながら海へ流れ出ています。

ロシアは日本の約30倍もの国土ですが、降水量は日本の半分。ヨーロッパ諸国の中でも、イタリアは日本の3分の1程度しかありません。

琵琶湖は、年間降水量が1,600mmもあるのに、人口は約1,300万人。一人当り年間降水量は約5,000トンです。

ヨルダンは、日本の約100分の1。砂漠の国です。

私たちの生活を支える水資源は、琵琶湖開発事業などによって、琵琶湖水系の水源である琵琶湖が、平成3年度に観測史上最低の水位を記録しました。

水を大切にしようという人びとの心がなければ、水は枯れてしまいます。

朝、水道に入れた水は夕方頃にはどこへ行くか。

水道を清潔に保っていれば、水は水道水として使用されます。その水は、直接、水道に口をつけて飲んでいるので、毎日、入れ替わりながら海へ流れ出ています。

琵琶湖から流れ出た水は、高度浄水処理を経て、安全な水として、家庭に届けられています。その水は、生活排水として下水処理場へ、海水は海へ。そして河川を経て、大阪湾へと注ぎます。海へ運ばれます。

高度浄水処理水は、生活排水として下水処理場へ

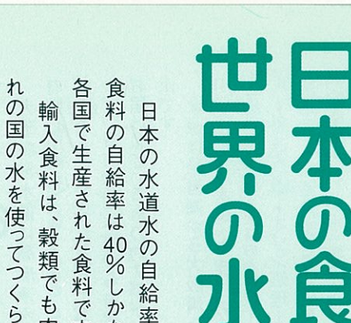
琵琶湖から流れ出た水は、高度浄水処理を経て、安全な水として、家庭に届けられています。その水は、生活排水として下水処理場へ、海水は海へ。そして河川を経て、大阪湾へと注ぎます。海へ運ばれます。

府営水道・高度浄水処理水は大阪府民615万人の暮らしの水

大阪府府営水道は高度浄水処理水を約615万人府民(大阪・豊能町・能勢町を除く)に届けています。各市町村水道の営業区域内の府民の皆様に水源としている水の約7割が、府営水道です。

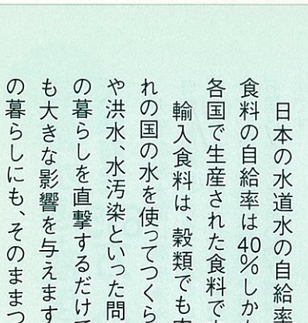
水源は琵琶湖から大阪湾へと注ぐ淀川の流れです。

三つの浄水場で、淀川の水(原水)を生物処理(三島浄水場)→オゾン処理→粒状活性炭処理→塩素殺菌(村野浄水場)→緩速ろ過→オゾン処理→高度な処理を経て、「安全なおいしい水」をつくっています。

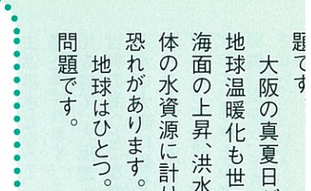


世界の水問題

数字で見る



0.3〜1メートル



この半世紀地球温暖化が進む場合、2100年には海面が0.3〜1メートル上昇すると予測されています。ツバルは海面に近い沿岸や低地に住む人びとにとって、その影響が出始めています。

0.01%

地球上に存在する水のうち97.5%は海水であって、淡水は2.5%です。しかも大半は氷や地下水などで、簡単に使える水はたった0.01%に過ぎません。

80%

ロシアにおける調査によると、国で起きる病気の原因の、80%が汚れた水が原因であるとされています。

そのうち、8割はインフルエンザです。

11億人

安全な飲料水が確保できないこの数。世界人口の6分の1にも上ります。

31カ国

地球上の192カ国のうち、31カ国で絶対的水不足に陥っています。日本人一人当りの生活用水使用量323リットル(2001年)に対して、アフリカのチャドでは一日一人5リットルでようやくまかなっている状況にあります。

60億人

世界人口は2000年に60億人を突破。2025年には80億人に達するとの予測されています。開発途上国での人口の増加や都市の集中は、水不足や水質汚染、水害などの被害拡大の要因になるとも懸念されています。